

(様式)

令和6年度「ふるさとの学び特別賞」 推薦書

令和6年12月4日

学校名	大野市和泉小学校	校長名	山田 善信
-----	----------	-----	-------

1. 推薦理由

和泉中学校が統合されたこともあり、今後の和泉地区に不安を抱く声が多い中、児童は、小学校だけになっても、自分たちでふるさと和泉を盛り上げたいという熱い思いで取り組んでいる。今年度は、これまで続けてきた太鼓演奏をレベルアップさせたり、和泉の人やモノとのつながりを深めるため、たくさんの地域の方々と触れ合う機会を作り出したりしてきた。

2. 活動内容 テーマ「和泉 with ME !! ～私たちが和泉を盛り上げる～」

- (1) 対象学年、児童生徒数 全校10名 (1年1名 3年2名 5年3名 6年4名)
(2) 取組内容

和泉地区も高齢化が進み、地域の産業や伝統文化の継承が難しくなっている。数年前から、昇龍太鼓を演奏する方もいなくなった。また、今年度から小学校単独になったことで、地域と学校との関わりが薄れることも危惧された。

そこで、「WITH ME 学習」と題して、自分たちがふるさと和泉を盛り上げるために何ができるかを、タブレット端末を使って意見を出し合った。まずは、和泉のことをもっと知りたいと新緑まつりや紅葉まつりでアンケートをとったり、和泉の名人発掘を行ったりした。名人発掘にあたっては、公民館の力を借り、地区の回覧を使って調査し、たくさんの名人に来校していただいて、和泉の人やモノについての理解を深めることができた。

太鼓演奏では、講師の力を借りながら児童が意見を出し合い、校歌を取り入れた新しい演目を創り上げ、地域の方々や多くの観光客に披露した。また、合同体育大会では、ダンスや地域の方への応援を、ほとんど児童たちで考え、放課後や夏休みなど教員がいないときでも進んで練習に取り組むなど、児童主体で活動していた。本番での本当に楽しそうに、生き生きと演技する姿に、地域の方々からはたくさんの賞賛の声をいただいた。小学校だけになったことを感じさせないほど、和泉の子ども達の存在感を示す絶好の機会となった。

新緑まつりや紅葉まつりでは、昇龍太鼓 LIVE の際に、和泉の特産品や観光スポットなどをPRしたり、パンフレットを配布したりして和泉を発信した。また、代表児童が、市の「少年の主張」に出場し、『昇龍太鼓で和泉を盛り上げたい』と題して和泉を大いにアピールした。2月には「福井ふるさと教育フェスタ」で、市外にも和泉を広める予定である。

3. 年間活動実績 (12月以降の予定を含む)

- 5月 ふるさと和泉について、学年ごとに探求したい課題を設定
【1年】和泉で見つけた生き物【3年】和泉の特産品 (穴馬かぶら・穴馬スイートコーン・九頭竜まいたけ)
【5年】Let's go to Izumi (観光スポット等)【6年】探せ！和泉の〇〇名人
(5～1月 昇龍太鼓練習 5～9月 特産物栽培)
6月2日 新緑まつりにて昇龍太鼓 LIVE① (伝説アイドル「さくら」とコラボ) 来場者にアンケート調査
7月20日 市青少年健全育成推進大会の少年の主張で、6年代表児童が発表
9月上旬 和泉の名人調査 (地域に回覧して調査)
9月29日 和泉地区合同体育大会にて、地区民に向けてダンスや応援の披露
10月27日 紅葉まつりにて昇龍太鼓 LIVE② 来場者にアンケート調査
11～12月 和泉にある施設訪問 和泉の名人との触れ合い
11～2月 穴馬紙づくり (計5回)
12月19日 WITH ME 学習発表会 (学習成果の発表)
2月1日 福井ふるさと教育フェスタにて昇龍太鼓 LIVE③

4. 提出書類リスト

- ・「和泉 with ME !!」(児童作成パンフレット) ・青少年市民育成会議広報誌「すこやか」